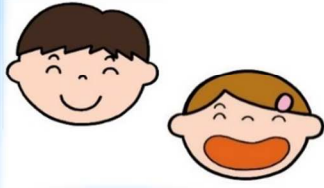




～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



# つむぐ

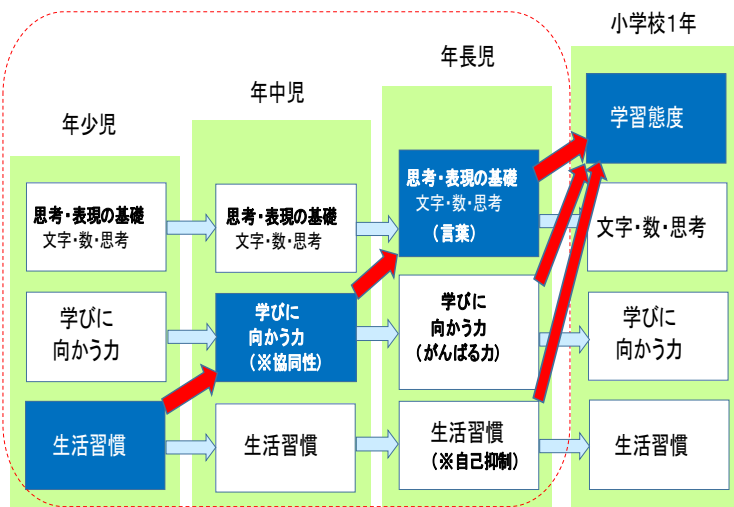
No. 1

令和2年10月1日発行 袋井市幼児教育センター

## ●幼児教育・保育が人生を豊かにする

就学前の子どもは、生活や遊びにおける様々な経験を通して、よりよく生きていくために必要な「生活習慣」や「学びに向かう力」、「思考・表現の基礎となる力」を段階的に獲得していきます。

就学前の子どもの成長過程



### 思考・表現の基礎(文字・数・思考)

思考力の芽生え、数量や図形、標識や文字などへの関心

### 学びに向かう力

好奇心、協同性、考えを伝える力、がんばる力など

### 生活習慣

自立心、道徳性・規範意識の芽生え、健康な体、社会生活との関わりなど

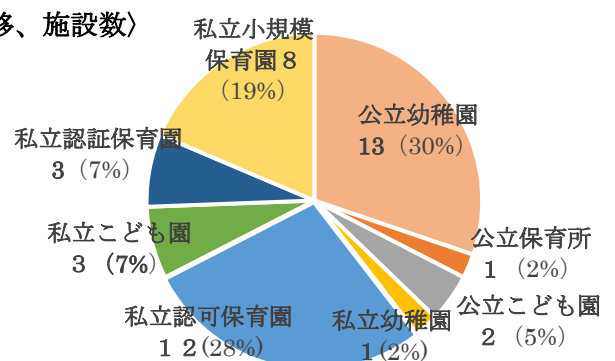
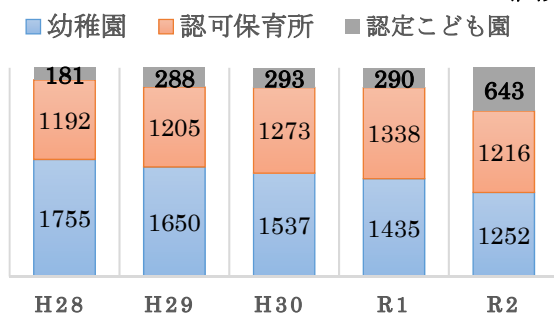
小学校入学前の時期にどのような環境で育ったかがその後の人生に大きな影響を及ぼすとする研究結果もあり、幼児教育・保育が生涯にわたる学習の基礎をつくるものであることを認識して取り組むことが重要とされています。

## ●幼児教育センターを設置しました

本市では、こうした3つの力を段階的に育成するため、就学前教育・幼小接続カリキュラムを定め、平成30年度から公立の幼稚園等で実践しています。

さらに、公立私立を問わず市内の全ての園で実践することを目指し、本年8月に幼児教育センターを設置しました。同センターは、幼稚園教諭や保育士に研修機会を提供したり、助言や情報提供を行ったりなど、幼児教育の更なる質の向上を図っていきます。

〈園児数の推移、施設数〉



## ●キラリと光る取組を紹介します

子どもが自ら環境に関わり、好奇心や探究心をもって、友達と発見や工夫を繰り返しながら分かったことを次に生かしていくために、各園では学びにつながる環境づくりに努めています。

### 【事例】 5歳児

#### 廃材遊びから船づくりへ、そして…「そうだ、船を動かしてみよう！」に発展した活動



タイヤで船を浮かばせていたが「流れが欲しい」と気付きどうしたらよいか考え始める



高低差の必要性に気づき始める



「水を出しながら船を流してみよう」  
「やったー！流れるようになった」

## ●「つむぐ」に込めた思い

核家族化や女性の就労率の上昇などを背景に保育ニーズが高まっています。幼児教育を充実したものとするためには、公立私立の垣根なく幼児教育施設が連携することはもとより、進学先の小学校や中学校とも密接につながり子どもの教育を充実していくこと、さらに、保護者や地域の皆さんの理解や協力を得ながら環境を整えていくことが必要です。

子どもを取り巻く様々な立場の方々が相互に「つむぎ合う」こと、また、幼児教育センターが「つむぐ」役割を担うことができるよう、この名称を掲げました。今後は、この紙面をはじめ、様々な機会を通して情報発信していきます。



### 袋井市幼児教育センター

主幹兼指導主事：深谷  
指導主事：村木  
アドバイザー：深田  
〃：澤田

電話 44-3157  
FAX 44-3228